

普及項目	養殖
漁業種類等	貝類養殖
対象魚類	マガキ
対象海域	八代海

天草市有明町大浦地先におけるマガキ浮遊幼生調査

天草広域本部水産課・陣内 康成

【背景・目的・目標（指標）】

天草市有明町大浦地先では、1 経営体が支柱式及びはえ縄式のマガキ養殖を営んでいる。当該経営体は地先海面で自家採苗を行っており、当該地先における浮遊幼生出現のパターンを把握することは採苗作業にかかる労力削減につながると考え、令和 2 年度（2020 年度）からマガキ浮遊幼生調査に着手している。

本年度も昨年同様、ピーク時に海水 200 リットル当たり 1 千個前後の二枚貝浮遊幼生を確認し、採苗作業を行うマガキ養殖業者に有益なデータを提供することを目標とした。

【普及の内容・特徴】

実施期間：令和 4 年（2022 年）5 月 2 日～9 月 27 日

実施場所：熊本県天草市有明町大浦地先

参加者：牡蠣養殖業者 1 名、水産課 1 名

令和 3 年度（2021 年度）は、湾内に 1 点、湾外に 1 点の採水点を設定したが、今年度は湾内の 2 点に採水点を設定し、水面下 1m で週に 1 回採水を実施した。（図 1 参照）

採水は、1 点につき 200 リットルとし、漁船に装備されたポンプを使い、取水口を設定水深まで下ろし、汲み上げた海水をプランクトンネット（目合い：100 μ m）で濾水、濃縮してサンプル瓶で持ち帰りすぐに冷凍保存した。

翌日以降、冷凍サンプルを解凍し、実体顕微鏡下でマガキ浮遊幼生を計数した。

【成果・活用】

湾内東側（st. A）では、海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生は確認されなかった。

湾内西側（st. B）では、5 月に 1 回（5 月 25 日）海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生が確認された。

なお、詳細な結果は図 2 のとおり。

令和 3 年度（2021 年度）は、5 月下旬と 8 月中旬に大きなピークが確認されたが、今年度は大きなピークは、5 月下旬の 1 度だけであった。

幼生採取日から 1 週間以内には、検鏡した幼生数を漁業者に報せており、漁業者からは「カキの採苗作業が効率よく行え有難い。」との言葉をいただいた。

【達成度自己評価】

4：目標はほぼ達成できた（100%）

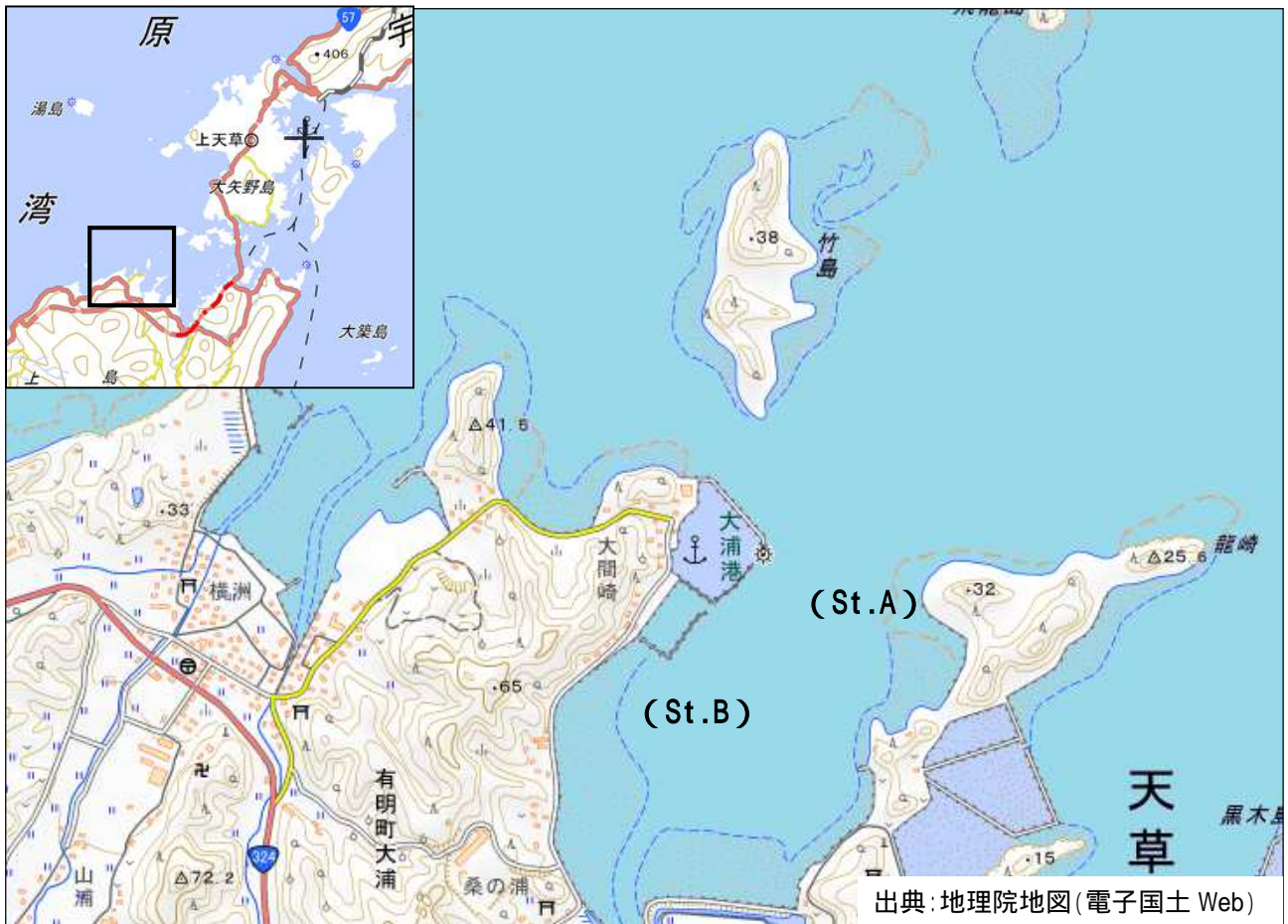


図1 浮遊幼生調査点

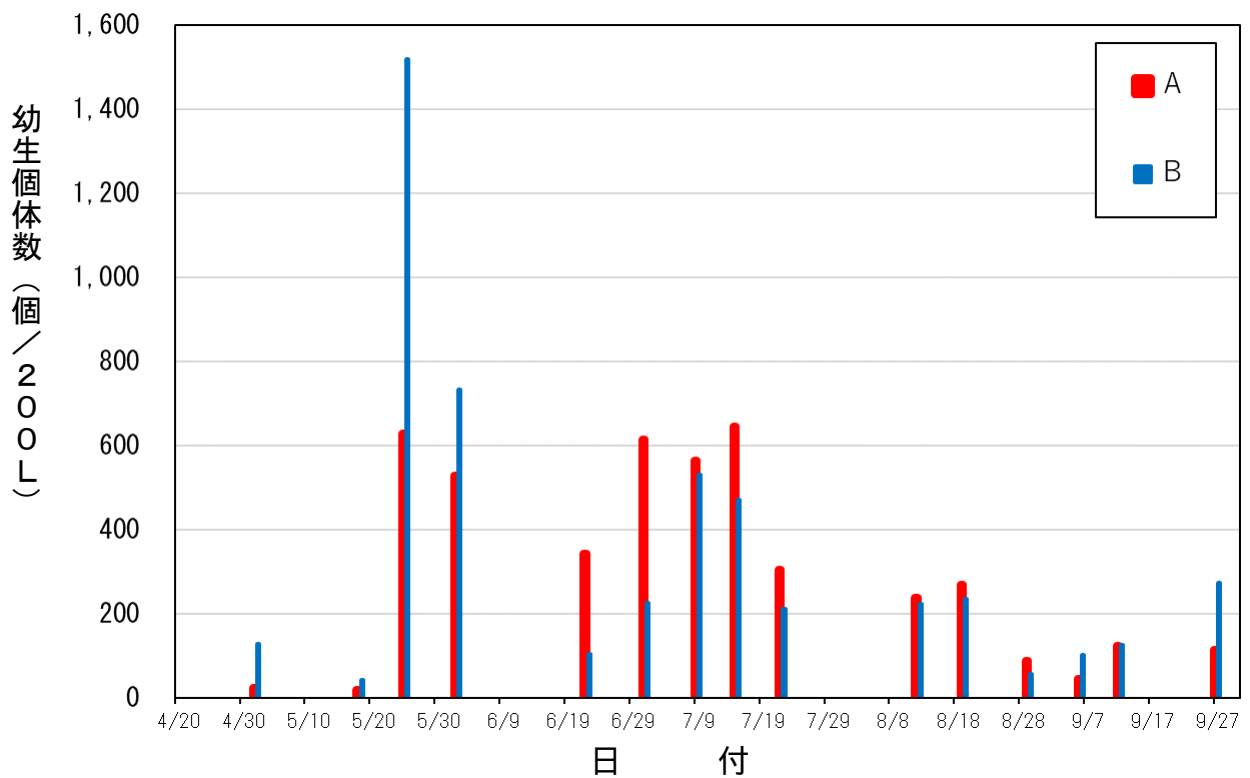


図2 二枚貝浮遊幼生出現状況